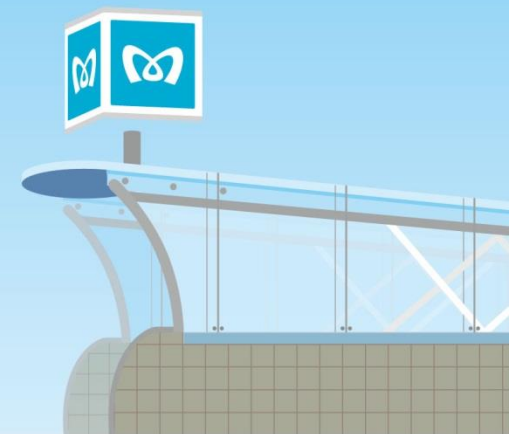


2018年度 第15期  
**事業計画 主要施策**



2018年3月  
東京地下鉄株式会社

## ■ 2018年度 事業計画の位置付け

>>> P3

## ■ 2018年度 事業計画のトピックス

>>> P4

### 安心の提供

■ 自然災害対策

>>> P6

■ 鉄道の安全・安定運行に向けた取組み

>>> P7

■ 輸送サービスの改善

>>> P9

■ バリアフリー設備整備

>>> P11

■ 銀座線リニューアル 利便性・快適性向上①②

>>> P12

■ 利便性・快適性向上③ 東京の地下鉄のサービス一体化

>>> P14

### 成長への挑戦

■ お客様ニーズへの対応 東京とともに成長

>>> P16

■ 関連事業の拡大

>>> P17

■ 海外鉄道事業の新たな展開 新たな事業領域への挑戦 新技術の開発・導入

>>> P18

### 経営基盤の強化

■ 経営基盤の強化

>>> P21

### その他

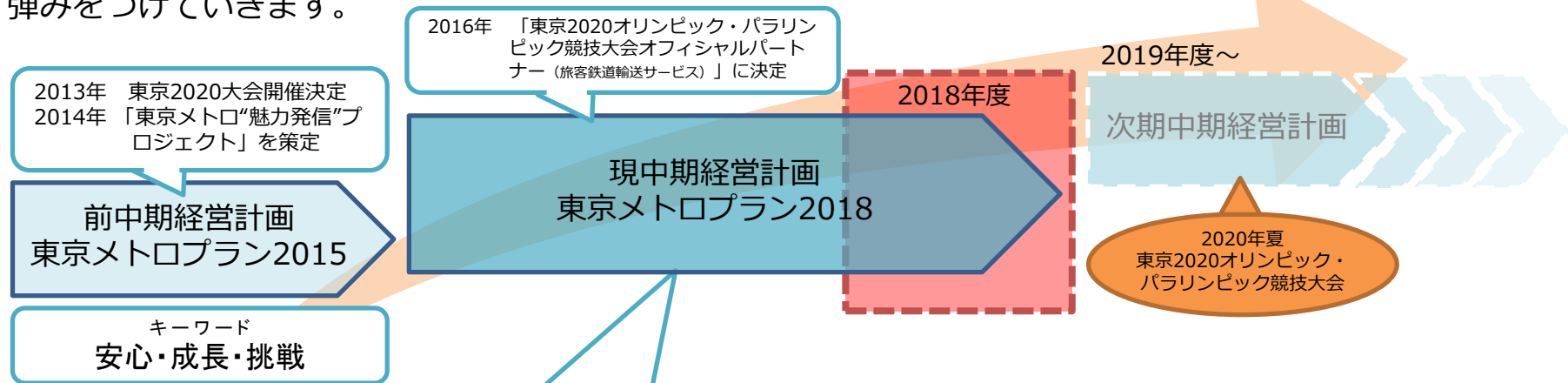
■ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後に向けた主な取組み

>>> P22

■ 2018年度 設備投資予算

>>> P24

2018年度は、現中期経営計画の最終年度として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後も見据え、各施策を着実に実行することにより、策定に向けて動き出した次期中期経営計画へ弾みをつけていきます。



## キーワード

### ～ 「安心の提供」と「成長への挑戦」 ～

#### 安心の提供

「安心＝安全＋サービス」の考えのもと、「世界トップレベルの安心」を提供する地下鉄を目指し、ハード・ソフト両面での各種施策をこれまで以上に加速させていきます。

#### 成長への挑戦

「安心の提供」を大前提とした上で、新たな価値を生み出す取組みの全てを「成長」と位置づけ、「成長」に向けた取組みを積極的に進めていきます。

#### 経営基盤の強化

「安心の提供」「成長への挑戦」の実現を確かなものとするため、経営基盤の強化を図っていきます。

## 私たちの決意

安心 = 安全 + サービス

**TOPICS**

**駅ホームの  
安全性向上**

2018年度上期までに、  
渋谷駅を除く銀座線全駅でホームドア整備を完了します。  
2025年度までに、  
全路線全駅へのホームドア整備の完了を目指します。

P7



**TOPICS**

**新型車両の  
導入**

安全性・快適性の向上等を図るため、  
丸ノ内線に新型車両を導入します。  
全駅へのホームドア早期整備に向け、  
日比谷線や半蔵門線への新型車両の導入を進めます。

P8



**TOPICS**

**輸送サービスの  
改善**

北綾瀬駅のホーム延伸による分岐線と本線との直通化により、  
千代田線の利便性が大きく向上します。  
東西線の大規模改良工事についても、  
引き続き着実に進めます。

P9  
・  
P10



**TOPICS**

**設備投資額  
1,880億円**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と  
その後も見据え、現中期経営計画期間中の設備投資額を、  
当初計画4,200億円から5,100億円に増額変更します。  
2018年度の設備投資額は、1,880億円を計画しています。

P22  
～  
P24

※東京メトロは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャルパートナー（旅客鉄道輸送サービス）です。





# 安心の提供

「安心=安全+サービス」の考えのもと、  
「世界トップレベルの安心」を提供する地下鉄を目指し、  
ハード・ソフト両面での各種施策をこれまで以上に加速させていきます。



お客様の安全確保を最優先に、震災対策、大規模停電対策等を推進するとともに、各種訓練の実施により、異常時の迅速な対応が可能な体制を強化します。

### 震災対策

- 首都直下型地震等に備え、震災発生時にも早期の運行再開ができるよう、高架橋柱約1,200本の補強及び地上部の石積み擁壁約1,800mの補強を推進します。

2019年度 石積み擁壁補強完了予定

2020年度 高架橋柱補強完了予定

### 大規模浸水対策

- 対策が必要な全ての出入口（約400か所）、トンネル坑口への浸水対策を進めます。
- 換気塔への浸水対策を完了します。
- 総合指令所から既設防水ゲートの遠隔操作を可能にします。

2018年度 換気塔浸水対策 全24か所完了予定

2022年度 浸水対策完了予定



▲浸水対策前（上野駅）



▲浸水対策後（上野駅）

### 異常時の体制の強化

- 2022年度までに車両内緊急放送の英語放送を全車両で実施する等、緊急時を含め多言語での適時適切な情報提供・ご案内の充実を図るとともに、総合研修訓練センターの活用等により、各種訓練を実施します。
- メガホン型多言語音声翻訳サービス端末の増備等、異常時の情報提供・ご案内を強化します。

2018年度 車両内緊急放送（日・英）  
累計266編成/339編成（78%）整備完了予定

### 大規模停電対策

- 停電によって列車が駅間に停止した場合でも、最寄駅まで走行が可能となるよう、非常用走行バッテリーの車両への搭載を銀座線ですべて完了させるとともに、丸ノ内線への搭載を開始します。

2018年度 銀座線搭載完了予定



▲非常用走行バッテリー搭載車（イメージ）

- その他の路線についても、最寄駅まで走行が可能となるよう、変電所への非常用走行バッテリーの設置準備を進めます。

非常用走行バッテリー（変電所）▶



## TOPICS

2018年度上期までに、渋谷駅を除く銀座線全駅でホームドア整備を完了します。  
2025年度までに、全路線全駅へのホームドア整備の完了を目指します。

### ホームドアの整備

- お客様のホームからの転落事故や列車との接触事故を防止するため、全駅へのホームドア整備を進めます。

2018年度 ホームドア整備予定駅 (22駅)

2018年度末 整備率67%予定 (2017年度末 整備率55%)

- 銀座線 京橋駅、銀座駅、新橋駅、虎ノ門駅、溜池山王駅、表参道駅
- 東西線 高田馬場駅、早稲田駅、神楽坂駅、飯田橋駅
- 千代田線 北千住駅、湯島駅、二重橋前〈丸の内〉駅、日比谷駅、国会議事堂前駅、赤坂駅、代々木公園駅、
- 半蔵門線 渋谷駅、表参道駅、青山一丁目駅、永田町駅、半蔵門駅



▲半蔵門線ホームドア (九段下駅)



▲東西線ホームドア (九段下駅)

### 各路線ホームドア整備計画

引き続き全駅へのホームドア早期整備完了に向けて取り組んでいきます。

現時点 (2017年度末) までの取組状況

今後の計画

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 銀座線 計12駅で供用開始</li> <li>● 丸の内線 全駅整備済</li> <li>● 日比谷線 2020年度から設置開始</li> <li>● 東西線 九段下駅で供用開始</li> <li>● 千代田線 <b>2018年度から設置開始</b><br/><small>北綾瀬駅・綾瀬駅 (北綾瀬方面行ホーム) 設置済</small></li> <li>● 有楽町線 全駅整備済</li> <li>● 半蔵門線 九段下駅で供用開始</li> <li>● 南北線 全駅整備済</li> <li>● 副都心線 全駅整備済</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>2018年度上期</b><br/><b>渋谷駅※を除く全駅整備完了予定</b></li> <li>▶ 2022年度全駅整備完了予定</li> <li>▶ 2025年度全駅整備完了予定</li> <li>▶ 2019年度全駅整備完了予定</li> <li>▶ 2023年度全駅整備完了予定</li> </ul> |
|--|--|

※渋谷駅については、大規模改良工事に合わせて整備予定

### その他の駅ホームの安全性向上施策

- 列車とホームの隙間を埋めるため、転落防止ゴムの設置を進めます。
- 必要な箇所・時間帯に駅社員・警備員を配置し、「見守る目」を引き続き強化します。
- 非常停止ボタンの鳴動時に自動的に列車が停止する仕組みの整備を全路線で推進します。

2016年度 半蔵門線完了

2018年度 千代田線完了予定

2017年度 日比谷線・東西線完了

2023年度 全路線完了予定

### セキュリティ強化

- テロ行為や犯罪に備え、駅構内へのセキュリティカメラの増設や機能向上、車両内のセキュリティカメラの順次運用開始や車両基地の塀の高上げ等、様々な角度からセキュリティ強化を推進します。
- サイバーテロの脅威が高まっていることから、サイバーセキュリティ対策を強化します。



## TOPICS

安全性・快適性の向上等を図るため、丸ノ内線に新型車両を導入します。  
全駅へのホームドア早期整備に向け、日比谷線や半蔵門線への新型車両の導入を進めます。

### 新型車両の導入

- 遅延回復等に効果があるCBTC（無線式列車制御）システムの導入促進、非常用走行バッテリーの搭載や走行安全性・車内快適性の向上等を図るため、丸ノ内線に新型車両を導入します。
- 全駅へのホームドア早期整備の完了に向け、引き続き日比谷線の新型車両を導入するとともに、導入を前倒した半蔵門線の新型車両の設計に着手します。

#### 丸ノ内線新型車両導入開始

丸ノ内線



2000系新型車両

2018年度 4編成導入開始予定

2022年度 全53編成導入完了予定

#### その他の路線の新型車両導入の進捗



13000系新型車両

日比谷線

2018年度  
13編成導入予定

2020年度  
全44編成導入完了予定

半蔵門線

2020年度  
新型車両  
導入開始予定

#### 【車内快適性の向上】

- ✓ 既存車（02系）と比較して、冷房能力を約1.4倍向上・座席幅を拡大
- ✓ ドア上に3画面ディスプレイを設置し細やかに情報を提供
- ✓ 全車両にフリースペースを導入



▲ 3画面ディスプレイ（イメージ）



▲ 車両内フリースペース



▲ 車両内Wi-Fi

※2020年夏までに東京メトロ全路線全保有車に導入予定

#### 【走行安全性向上／省エネルギー性向上／低騒音化】

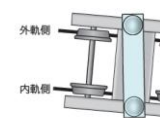
- ✓ 安全性向上に加え、曲線走行時の不快な音を低減できる操舵台車を導入
- ✓ 永久磁石同期モーターの採用による省エネルギー化  
※既存車（02系）と比較して、約20%の駆動系消費電力量を削減見込み



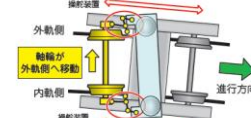
▲ 操舵台車



▲ 永久磁石同期モーター



【通常台車】



【操舵台車】

通常の台車と操舵台車の比較▶



## TOPICS

北綾瀬駅のホーム延伸による分岐線と本線との直通化により、千代田線の利便性が大きく向上します。

### 千代田線の輸送改善

#### 千代田線ダイヤ改正

- 朝ラッシュ時、折返しに時間を要していた霞ヶ関駅止まりの列車を、代々木上原方面まで行先を延長することにより、遅延防止を図ります。また、今後は夕夜間の増発による、帰宅時の利便性向上を検討します。
- 小田急線の複々線完成に伴う、小田急線直通列車の増発や、特急ロマンスカーの増発等により、利便性、快適性向上を図ります。



▲千代田線16000系

朝及び夕夜時間帯  
の小田急線直通列車の増発



▲ロマンスカー

「メトロエのしま号」（北千住駅～片瀬江ノ島駅間）の運行開始

「メトロモーニングウェイ号」（本厚木駅～北千住駅）及び「メトロはこね号」（北千住駅～箱根湯本駅間）の増発

2018年 3月17日実施

#### 北綾瀬駅のホーム延伸

- 北綾瀬駅のホーム延伸により、分岐線と本線との10両編成列車直通運行を可能とすることで、混雑緩和や遅延防止を図り、北綾瀬駅～綾瀬駅間の利便性が大きく向上します。



▲北綾瀬駅改良後のイメージ

新設箇所

北綾瀬駅～綾瀬駅間の10両編成列車の営業化及び分岐線と本線との10両編成直通運行開始

2018年度 供用開始予定

### その他の路線の輸送改善

- 丸ノ内線において、帰宅時間帯の利便性向上を目指し、夕方・夜間のラッシュ時間帯、新宿駅止まり列車の一部荻窪方面への延長を検討します。また、方南町駅のホーム延伸による分岐線と本線との6両編成列車直通運行に向けて、引き続き工事を推進します。
- 東西線において、ピーク時の混雑緩和を目指し、朝ラッシュ前の時間帯での列車増発を検討します。

# TOPICS

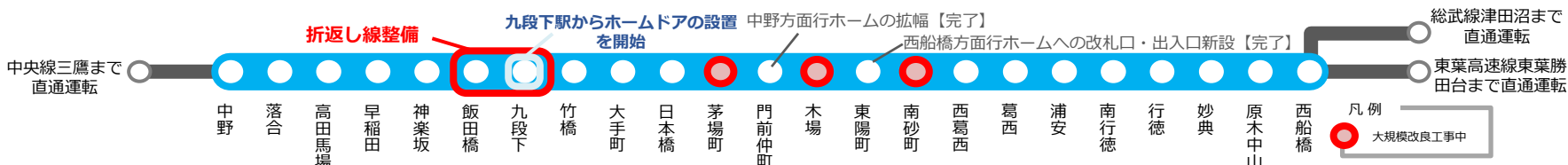
混雑緩和や遅延防止に向けて、東西線の大規模改良工事についても、引き続き着実に進めます。

## 東西線の輸送改善

### 【南砂町駅】線路・ホームの増設等の大規模改良

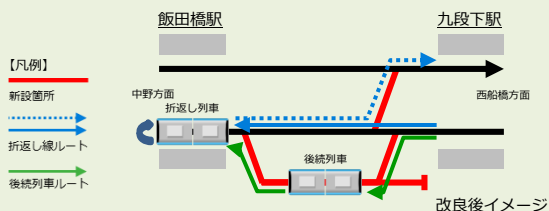
ホーム1面、線路1線を増設し、2面3線化する事で列車の交互発着が可能となり、ホーム上の混雑が緩和され、遅延防止、安全性・利便性の向上を図ります。

■ 新設箇所



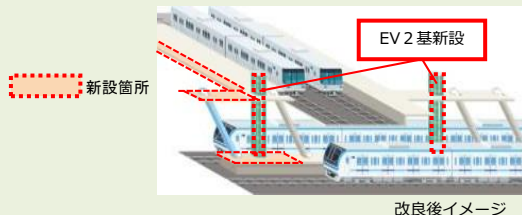
### 【飯田橋駅～九段下駅間】折返し線の整備

平面交差を解消し、将来の列車増発を可能にします。



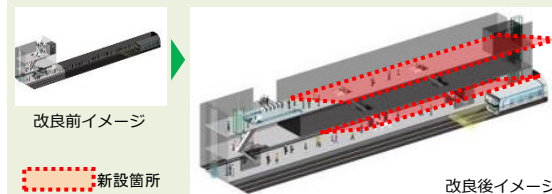
### 【茅場町駅】ホーム延伸等の大規模改良

ホームを延伸して、お客様の流れを分散し、日比谷線への乗換えをスムーズにします。



### 【木場駅】ホーム・コンコース拡幅等の大規模改良

ホームとコンコースを拡幅して、お客様の流れを分散し、混雑緩和を図ります。



### 【その他の施策】

- 2017年度に通年化した「東西線早起きキャンペーン」を、「時差Biz」と連携しながら継続実施するとともに、東西線以外への拡大等を検討します。
- 「オフピーク通勤（通学）」を推進するための新たなポイント制度の導入を検討します。



全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、  
全駅へのエレベーター1ルート整備と多機能トイレの整備を進めるとともに、  
エレベーターによる複数ルート等の整備を進めます。

### 全駅へのエレベーター1ルート整備

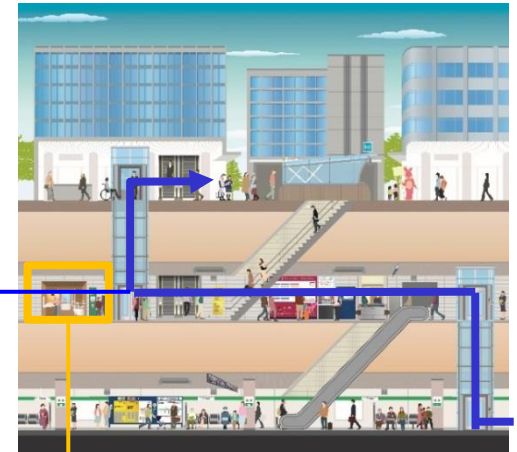
- 高齢者やお身体が不自由なお客様も、シームレスに安心してご利用いただけるよう、全駅でエレベーターによる1ルート整備の早期完成を目指します。

- G 銀座線 日本橋駅、虎ノ門駅
- M 丸ノ内線 四ツ谷駅、四谷三丁目駅
- T 東西線 神楽坂駅

2018年度 5駅完成予定（整備率89%予定）  
（2017年度末 整備率86%）



▲エレベーター1ルート整備



### エレベーター複数ルート整備等

- 全駅へのエレベーターによる1ルート整備に加え、病院に近い駅や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場最寄駅（外苑前駅、青山一丁目駅）等において、複数ルートの整備を推進します。

- G 銀座線 日本橋駅
- T 東西線 日本橋駅
- C 千代田線 北綾瀬駅
- N 南北線 六本木一丁目駅
- Y 有楽町線 F 副都心線 地下鉄赤塚駅

2018年度  
5駅完成予定

- ホームドア設置等に合わせて、ホームと車両の段差・隙間縮小のための各種施策に取り組んでいきます。

### 全駅への多機能トイレの整備

- 乳幼児をお連れのお客様やお身体の不自由なお客様等にご利用いただけるよう、ベビーシートやベビーチェア等の乳幼児用設備やオストメイト対応設備等を備えた多機能トイレの整備を完了します。



▲多機能トイレ整備

2018年度  
渋谷駅を除き  
全駅整備完了予定

※渋谷駅については、大規模改良工事に合わせて整備予定



【伝統×先端の融合】をコンセプトに、銀座線リニューアルを推進します。  
その他の駅空間整備にも引き続き取り組み、利便性・快適性の向上に努めます。

## 銀座線リニューアル

- 下町エリア（浅草駅～神田駅）の駅改装に続き、銀座エリア（銀座駅）をはじめ、その他のエリアについても順次リニューアルを進めます。
- 渋谷駅の移設・改良工事を進め、乗換え利便性の向上・バリアフリー設備の整備等を推進します。

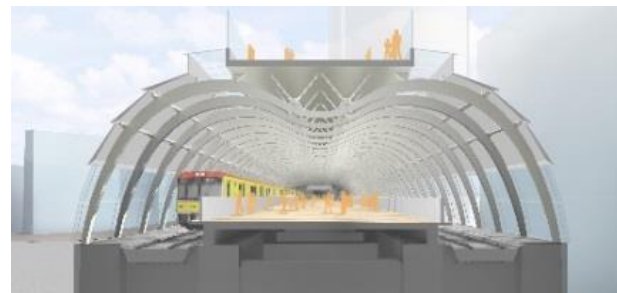
2018年度 第2回線路切替工事実施予定



▲銀座駅改装イメージ



▲日本橋駅銀座線改札イメージ



▲移設工事完了後の渋谷駅ホームイメージ（2019年度新ホーム供用開始予定）

## 駅空間の利便性・快適性向上

- トイレ全個室の洋式化を進めます。
- 二重橋前（丸の内）駅の駅改装が完了するとともに、四ツ谷駅の駅改装を進めます。
- 案内サインのリニューアル（表記の大きさや設置位置の工夫等）を進めます。



▲大手町駅トイレ個室洋式化

2018年度末時点  
累計90駅程度  
トイレ洋式化  
完了予定

2019年度  
トイレ全個室洋式化  
完了予定

2018年度  
二重橋前（丸の内）駅 駅改装完了予定



▲二重橋前（丸の内）駅改札イメージ

2018年度  
丸の内線・東西線・有楽町線・半蔵門線  
案内サインリニューアル完了予定



▲上野駅サインリニューアル  
（大型集約化）

▲後楽園駅サインリニューアル  
（ナンバリング強化）

## 海外からのお客様をはじめ、全てのお客様に 地下鉄をわかりやすく快適にご利用いただけるよう、利便性・快適性向上に努めます。

### 訪日外国人のお客様向けサービスの拡大

- 海外からのお客様にも地下鉄をわかりやすく快適にご利用いただくための取組みを積極的に進めていきます。

#### 自動旅客案内装置のリニューアル



▲自動旅客案内装置（イメージ）

- ✓ 4か国語（日・英・中・韓）対応
- ✓ 駅ナンバリング等の使用

2018年度  
銀座線・丸ノ内線完了予定

2019年度 全線完了予定

#### Greater Tokyo Passの発売

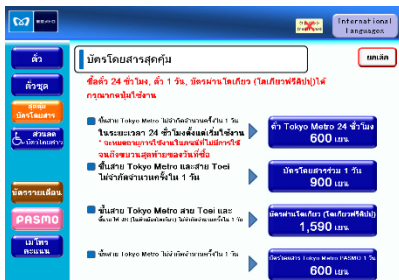


▲ Greater Tokyo Pass券面（仮）

- ✓ 関東の鉄道およびバス事業者64社局の共通企画乗車券
- ✓ 旅客案内所、一部の定期券うりばで発売

2018年度 発売開始予定

#### 自動券売機・自動精算機の多言語対応



▲タイ語操作画面（イメージ）

2018年2月28日 タイ語追加

- ✓ 7か国語（日・英・中・韓・フランス・スペイン・タイ）対応

#### 支付宝（アリペイ）への対応



▲支付宝（アリペイ）による決済（イメージ）

2018年度 旅客案内所に順次導入予定

- ✓ Tokyo Subway Ticket購入の新たな決済手段として、「支付宝（アリペイ）」を導入予定

#### 無料Wi-Fiサービスの拡大 再掲



▲Wi-Fi使用可能を示す車内ステッカー

2018年度 丸ノ内線・有楽町線・半蔵門線・南北線・副都心線導入開始予定

2020年夏 全路線全保有車両導入完了予定

- ✓ 車両内における無料Wi-Fiサービスを順次導入
- ※ 駅構内は全駅導入済。車両内については、銀座線・日比谷線・東西線・千代田線は一部導入済

地下鉄をわかりやすく快適にご利用いただくため、お客様サービスの拡充を図ります。  
また、東京の地下鉄のサービス一体化に努めます。

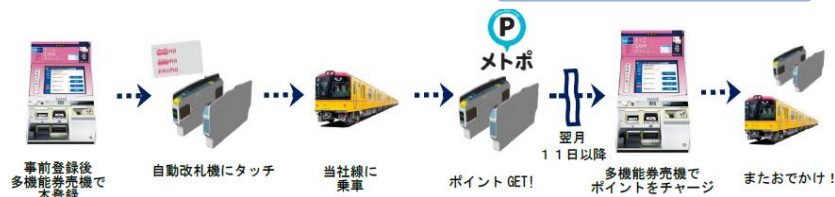
### 利便性向上に関するその他の施策

#### メトロポイントクラブ（メトポ）の導入

- お手持ちのPASMOで東京メトロを利用すると、PASMOにチャージし、運賃や電子マネーとして活用いただけるポイントを獲得できるサービス（メトポ）を導入します。

※当社線定期外利用時に限ります。

2018年3月24日開始



#### 旅客案内所の新設

- お客様対応の充実を図るため、東京駅に3か国語（日・英・中）に対応した旅客案内所を新設します。

2018年4月1日  
東京駅新設予定



▲東京駅旅客案内所（イメージ）

### 東京の地下鉄のサービス一体化

#### 旅行者向け券売機の導入

- 券売機操作に不慣れなお客様や訪日外国人のお客様向けに、両地下鉄共同で開発した旅行者向け券売機を引き続き導入します。

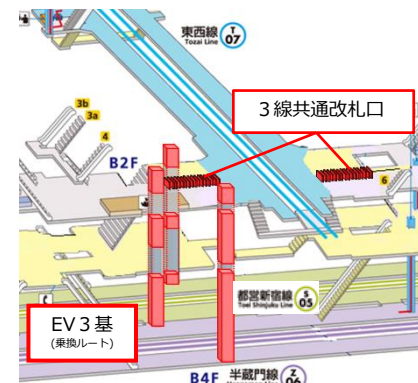


▲購入方法選択画面（イメージ）

2019年度 完了予定

#### 九段下駅の乗換改善

- 九段下駅における東西線、半蔵門線及び都営新宿線の更なる乗換の利便性向上施策として、3線共通改札口の設置及び乗換エレベーターの整備を進めます。



▲九段下駅（改良後イメージ）

2019年度 完了予定





# 成長への挑戦

「安心の提供」を大前提とした上で、  
新たな価値を生み出す取組みの全てを「成長」と位置づけ、  
「成長」に向けた取組みを積極的に進めていきます。



お客様のニーズを的確にとらえた多様なサービス・新たな商品の提供や、  
駅周辺のまちづくりとの連携の強化を進めます。

## お客様ニーズをとらえたサービス・商品の提供

### マーケティングの強化

- 首都圏をはじめ、国内地方や海外からの様々なお客様のお出かけ需要を創出するため、当社を取り巻く多様なデータやお客様のニーズを分析し、より良いサービス・商品を提供していきます。

## まちづくりとの連携

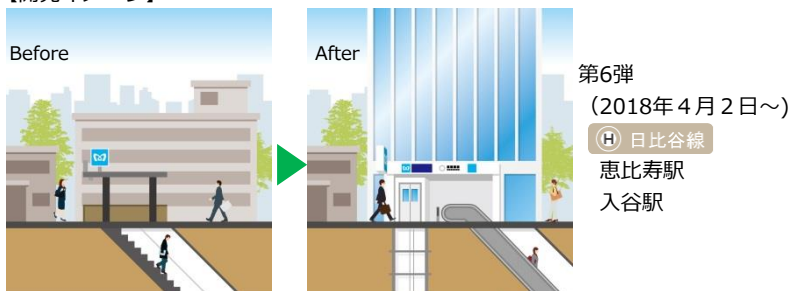
### 駅周辺開発における公募型連携プロジェクト

- 駅との接続を前提とした開発計画の提案を募集し、当社と協議・調整の上、連携して「まちの顔」となる駅出入口の設置を含めた駅周辺の開発を目指します。

【現在の募集状況】 ※募集期間は5年間

第1弾（2016年4月1日～）～第5弾（2017年11月1日～）

【開発イメージ】



2018年4月2日 第6弾募集開始予定（累計18駅募集）

### Tokyo Subway Ticketの販路拡大

- 東京メトロ及び都営地下鉄全線を24時間単位でご利用いただける旅行者向け企画乗車券「Tokyo Subway Ticket」の更なる販路の拡大を図ります。
- 訪日外国人旅行者向けの新しい企画乗車券「Greater Tokyo Pass」を発売します。再掲



### 日比谷線虎ノ門新駅（仮称）の整備

- 「生活環境を備えた国際的なビジネス・交流拠点の整備」及び「交通結節機能の強化」の実現に向け、独立行政法人都市再生機構から工事を受託し、新駅の整備を推進します。

2020年度 新駅開業予定



▲虎ノ門新駅（仮称）完成イメージ  
国家戦略特区HPより引用

### 銀座線虎ノ門駅周辺開発と連携した駅改良

- 虎ノ門駅前地区再開発事業において、建物の中に駅前広場の整備や、渋谷方面ホームの拡幅を行います。また、既存出入口混雑緩和のため、出入口の新設等を行うとともに、エレベーター・エスカレーター等、新たなバリアフリールートも整備します。

虎ノ門駅イメージ▶

2022年度 駅改良完了予定



## 東京メトログループの成長のエンジンとして、鉄道事業とのシナジー効果の発揮を基本とした各事業の積極的な展開により、収益力向上に取り組んでいきます。

### 不動産事業

- 近隣の不動産所有者と連携し、まとまりのある不動産区画での開発を行い、駅直結のエレベーターやエスカレーター、さらには地下空間と一体となった建物を整備していくことを目指していきます。このことにより、地域のまちづくりに寄与するとともに、関連事業の「地下から地上へ」の展開の足掛かりにしていきます。

#### 開発案件一覧

【営業開始時期】

2017年6月営業開始	PMO半蔵門（麹町二丁目用地）
2018年12月予定	神谷町駅ビル（虎ノ門五丁目用地） ※西松建設（株）との共同開発
2019年度予定	PMO新宿御苑前（新宿二丁目用地） 六本木駅ビル（六本木七丁目用地） ※ヒューリック（株）との共同開発
2019年度予定	渋谷スクランブルスクエア（東棟） （渋谷区渋谷二丁目23外） ※東京急行電鉄（株）、東日本旅客鉄道（株）との共同事業

#### 【不動産完成イメージ】



▲PMO新宿御苑前



▲六本木駅ビル

### 流通事業

- 駅の利便性向上を図るため、引き続き駅工事等により創出されたスペースの開発を実施していくとともに、訪日外国人のお客様ニーズにもお応えするサービスを積極的に提供していきます。

#### 海外発行カード対応ATM

2018年度末時点 累計設置駅数89駅予定

#### 大型コインロッカー

2018年度末時点 累計設置駅数62駅予定



▲駅構内商業店舗開発イメージ

### 広告・情報通信事業

- 駅コンコースの柱等を活用したデジタルサイネージの設置や、新たな広告媒体の開発を推進し、交通広告のさらなる成長を検討していきます。さらに、交通広告のほか、多角的成長の実現を目指し、様々な事業分野への進出に挑戦していきます。

2018年度 大幅増設予定



▲Metro Concourse Vision

2017年度時点 37社局参画

訪日外国人向け情報提供サービス  
「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOKYO」

LIVE  
JAPAN  
PERFECT GUIDE TOKYO



## 海外鉄道事業の新たな展開や、新たな事業領域への挑戦を通じ、成長に向けた新たな可能性を引き出していきます。

### 海外鉄道事業の新たな展開

#### ベトナムにおける都市鉄道整備支援

- ハノイ市に設立した現地法人を通じ、ベトナムにおける都市鉄道の運営・維持に対する支援を強化します。
- 2017年12月から業務開始した、独立行政法人国際協力機構（JICA）発注の「ホーチミン市都市鉄道規制機関及び運営会社能力強化プロジェクト」を着実に実行します。



▲ハノイ市人民委員会委員長による当社訪問

#### 国際協力・国際交流の推進等

- JICAの都市鉄道整備関連調査への参画や現地鉄道関係者からの研修受け入れによる国際協力、国際公共交通連合（UITP）での活動等による国際交流を推進し、日本の鉄道文化を積極的に発信します。



▲東京で開催されたUITPアジア太平洋総会の様子

### 新たな事業領域への挑戦

#### 子ども向けロボットプログラミング教室

- 未来を担う子どもたちが、生き生きと過ごせる沿線づくりを目指し、子ども向けロボットプログラミング教室「東京メトロ×プログラボ」を展開します。2019年4月までに10教室の開校を目指します。



▲授業イメージ

▲教育版レゴ® マインドストーム® EV3

2018年4月 葛西校開校

#### アクセラレータープログラム

- 「Tokyo Metro ACCELERATOR2017」の最終審査を通過したスタートアップ企業とパイロット施策を実施する等、幅広い外部連携等を通じ、新たな事業領域に積極的に挑戦していきます。



#### 2018年度 実証実験開始

- ・株式会社ストーリーアンドカンパニー
- ・日本美食株式会社
- ・ストリートアカデミー株式会社
- ・ためま株式会社
- ・株式会社ビビッドガーデン



世界の地下鉄の最先端に行く新技術の開発・導入や、ICTの積極的な活用を通じて、企業価値の向上を図ります。

新技術の開発・導入

CBTC（無線式列車制御）システム

- 無線を介して列車が情報通信することで、列車間隔をさらに短くすることができ、高い遅延回復効果が得られるCBTCシステムの2022年度運用開始を目指し、走行試験に着手します。



▲車上無線装置試験搭載車両



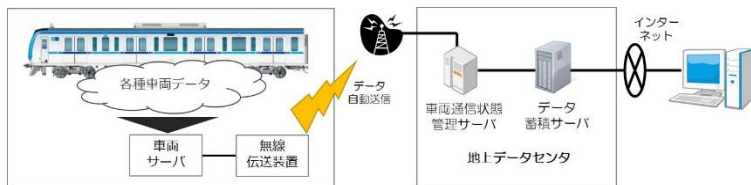
▲地上無線装置

2018年度  
一部区間で  
走行試験に着手予定

車両データ無線伝送システム

2018年度 東西線導入開始予定

- 車両故障対応の迅速化・質の向上を目指し、車両データの遠隔監視によるリアルタイムでの故障情報の把握を進めます。



▲無線伝送システムイメージ図

駅構内ナビゲーションサービス

- お客様にわかりやすく快適に駅構内を移動いただけるよう、実証実験の結果等を踏まえ、一部駅での駅構内ナビゲーションサービス導入に向けた具体的な調整を進めます。

ICTを活用した検査等

- 引き続き、検査等へのICT導入を推進し、さらなる業務効率化を目指すとともに、蓄積したデータの分析等を行い、業務改善を進めます。



▲ARを用いた教育用アプリケーションの使用状況

脱線検知装置

- 万一脱線した場合にも、自動で列車を停止させる脱線検知装置を新型車両に搭載していきます。



▲駅構内ナビゲーションサービスイメージ



# 経営基盤の強化

「安心の提供」「成長への挑戦」の実現を  
確かなものとするため、  
経営基盤の強化を図っていきます。





「安心の提供」「成長への挑戦」の実現を確かなものとするため、オープンで生き活きとした企業風土づくりや環境保全活動に取り組む等、経営基盤の強化を図っていきます。

オープンで生き活きとした企業風土づくり

- 「安心=安全+サービス」を確実に実現していくため、引き続き、総合研修訓練センターを活用した部門横断訓練の拡充を図る等、組織能力を高める取組みを進めていきます。
- 全てのライフステージで、ワークライフバランスを実現できるよう働き方の多様化を図ります。
- ICTの積極的な活用による業務の効率化を図ります。
- ベテラン社員が有する技術・技能を活用するとともに、少子高齢化の進展に伴う労働力人口の減少を見据え、65歳定年制を導入します。



▲訓練の様子



▲遠隔地からも参加可能なICTを活用したグループディスカッション

国際調達の推進

- 安全・安心で快適なより良いサービスを提供するために、透明・公正・公平な制度のもと、広く世界にも目を向けて、優れた技術・高品質な製品の調達を推進します。



▲海外サプライヤーとのミーティング

環境保全活動

- 地球環境保全を経営課題の1つととらえ、長期的かつ戦略的に、お客様や沿線地域とともに東京の環境負荷低減につながる様々な取組みを実施します。



▲太陽光発電システム（南千住駅）

2021年度  
車両内LED化  
完了予定

2018年度  
太陽光発電システム  
四ツ谷駅工事着手予定

社会貢献

- 「良き企業市民」として社会の持続的発展に寄与するため、教育・文化・スポーツ等の分野を通じて社会貢献活動を展開してまいります。



▲視覚に障がいのある高校生向け「鉄道施設体験学習会」にて、線路に触れて幅を体感している様子

東京マラソン  
への協賛

キッズニア東京  
へのパビリオン  
の出演

鉄道施設体験学  
習会の実施

事業組織の強化

- 東京2020大会への推進体制を強化することを目的に、「オリンピック・パラリンピック推進室」を設置します。
- 鉄道新技術の検討を着実に推進することを目的に、中長期的に取り組むべき新技術の調査・研究を専門とする「研究開発担当」を設置します。

## TOPICS

東京2020大会とその後も見据え、各種施策の前倒し、追加、工程促進等のため、現中期経営計画期間中の設備投資額を、当初計画4,200億円から5,100億円に増額変更します。

### Keyword 1 世界トップレベルの安心でお出迎え

#### ○全路線全駅へのホームドア整備の前倒し



- 2017年5月に半蔵門線、6月に東西線の整備計画の前倒しを決定、2025年度までに全路線全駅（179駅）のホームドア整備を進めていきます。

2020年夏時点  
138駅（77%）整備完了

#### ○バリアフリー設備整備の促進



- 全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、エレベーター1ルート整備と多機能トイレ整備、さらには、競技会場最寄駅を中心に、エレベーター複数ルート、自線内や他社線との乗換ルートの整備を促進します。

2020年夏時点  
E V 1ルート 176駅（98%）整備完了  
多機能トイレ 138駅（100%）整備完了

### Keyword 2 地下鉄をわかりやすく快適に

#### ○多言語情報・情報環境の更なる整備・充実



- 旅行者向け案内所の増設や自動券売機・自動精算機の7か国語対応、路線図から選択できる旅行者向け券売機の導入、車両内ディスプレイの増設、駅構内・車両内Wi-Fi環境の充実等、国内外問わず、全てのお客様へのご案内を充実していきます。

2020年夏時点  
案内サインリニューアル 全駅完了  
自動旅客案内装置リニューアル 全駅完了  
トイレ全個室の洋式化 全駅完了  
車両内Wi-Fiサービス 全保有車両導入完了

### Keyword 3 沿線地域との連携、東京を楽しく

#### ○虎ノ門新駅（仮称）



国家戦略特区HPより引用

- 「生活環境を備えた国際的なビジネス・交流拠点の整備」及び「交通結節機能の強化」の実現に向け、独立行政法人都市再生機構から工事等を受託し、新駅の整備を推進します。

2020年 新駅開業

#### ○情報提供、イベント開催等

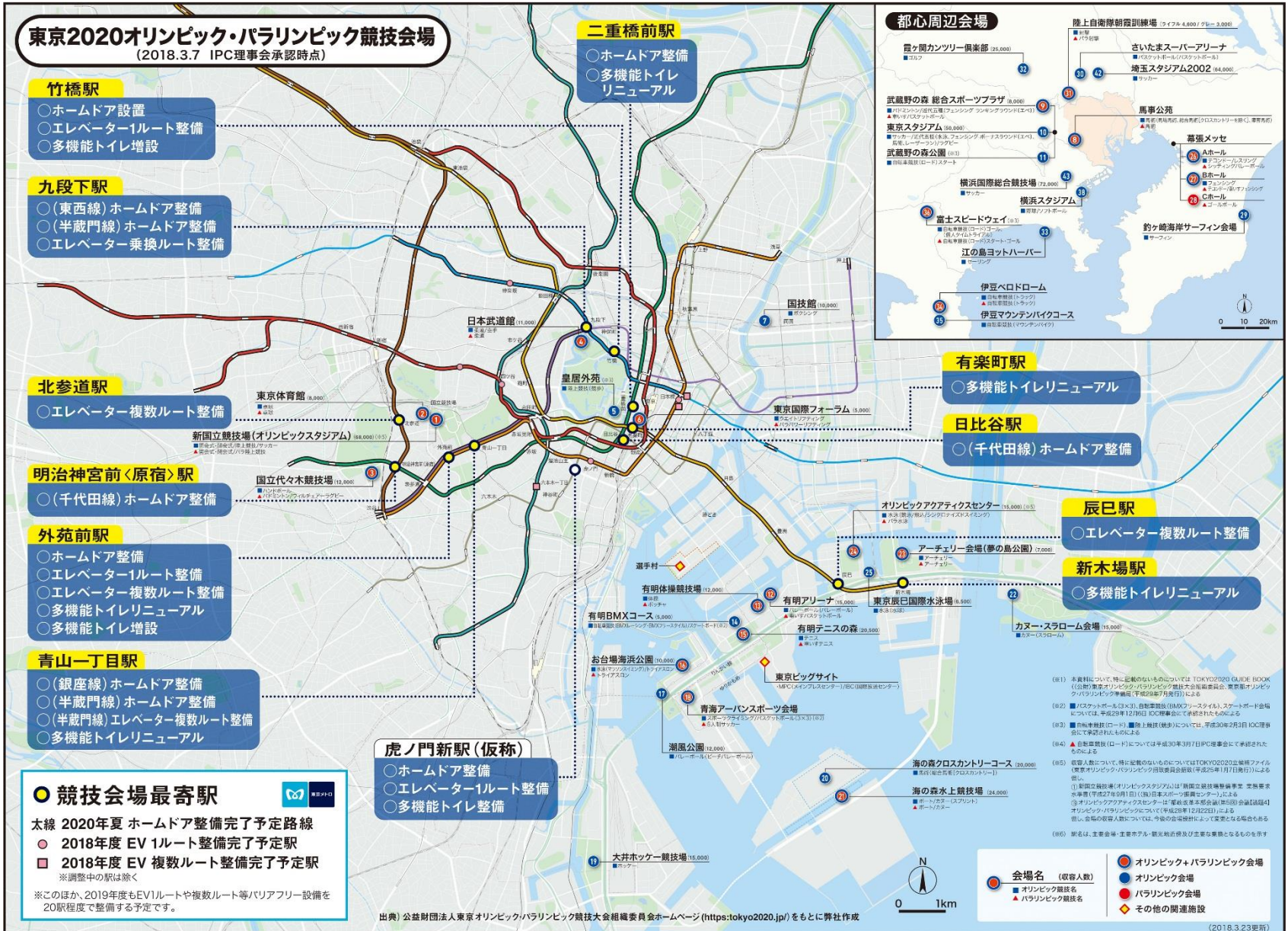
LIVE JAPAN  
PERFECT GUIDE TOKYO



- 訪日外国人向けワンストップガイドサービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOKYO」等を活用したエンターテインメント情報や沿線情報の提供を充実していきます。
- 沿線地域と一体となったイベントの開催や東京2020大会期間中における特別企画の実施等、東京の魅力の発信に努めていきます。

■ このほか、東京2020大会への推進体制を強化することを目的に「オリンピック・パラリンピック推進室」を設置します。





## TOPICS

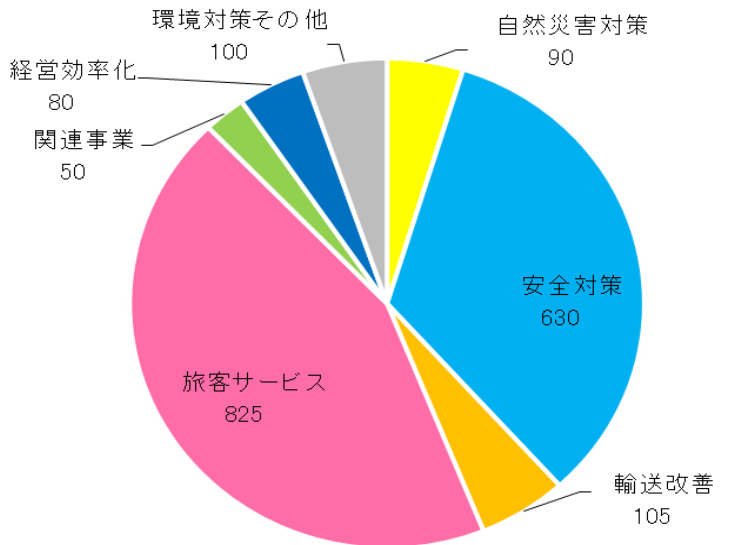
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後も見据え、2018年度の設備投資額は、1,880億円を計画しています。

### 2018年度設備投資予算

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後も見据えた各種施策が最盛期を迎える2018年度は、過去最高の規模となる1,880億円の設備投資を計画しています。

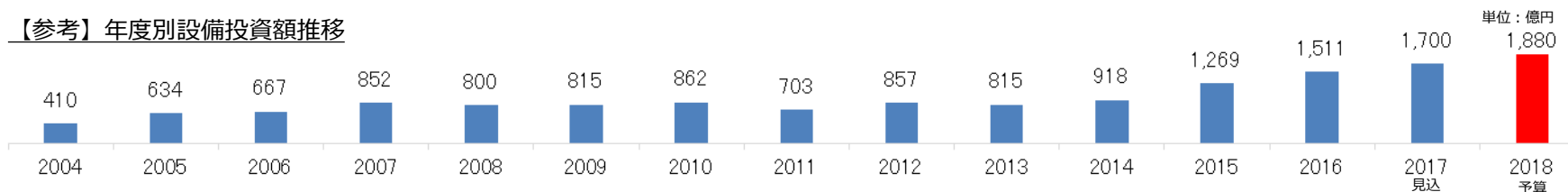
2018年度設備投資予算 1,880億円

単位：億円



項目	2018年度予算	主な内容
自然災害対策	90	震災対策、大規模浸水対策など
安全対策	630	
保安度向上	230	セキュリティカメラ機能強化、通信諸設備改良など
車両更新	229	日比谷線、丸ノ内線
ホームドア整備	127	千代田線、銀座線、東西線、半蔵門線、日比谷線
その他	44	信号設備更新など
輸送改善	105	南砂町駅改良、北綾瀬駅改良など
旅客サービス	825	
バリアフリー整備*	473	バリアフリー整備用地取得、エレベーター・エスカレーター整備など
駅空間整備	186	銀座線リニューアル（エリアごとの駅改装、渋谷駅移設・改良）など
その他	166	駅冷房増設・更新、自動旅客案内装置リニューアルなど
関連事業	50	渋谷スクランブルスクエアなど
経営効率化	80	社内情報システム改良など
環境対策その他	100	LED照明改良など
合計	1,880	

### 【参考】年度別設備投資額推移





東京地下鉄株式会社

※注意事項

ここに掲載されている情報のうち、過去の実績以外のものは将来の見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいています。したがって、実際の業績はこれらと異なる結果になる場合がありますことをご了承ください。

発行：東京地下鉄株式会社  
〒110-8614 東京都台東区東上野3-19-6  
<http://www.tokyometro.jp/>